

# 志布志港の貿易状況について

～2024年「原木」の輸出額は15年連続の全国1位～

～2024年「とうもろこし（飼料用）」の輸入額は7年連続全国2位をキープ～

## 0 はじめに

鹿児島県東部に位置する志布志港は1987（昭和62）年に開港指定を受けました。

2024（令和6）年の志布志港での輸出額は417億66百万円、輸入額は1,953億12百万円となっており、輸出入ともに概ね増加傾向となっています。

志布志港の周辺は全国的にも畜産業の盛んな地域となっており、全国有数の飼料供給基地としての役割を果たしています。

また、国際コンテナ航路、関西地区への内航フィーダー船<sup>注1</sup>も就航しており九州南部における国際物流の重要な港湾としての役割を果たしています。

今後も発展が見込まれる志布志港の貿易状況について調査しましたのでお知らせします。

### 主な出来事

1987（昭和62）年	開港の指定を受け、同年に鹿児島税関支署志布志出張所が設置された
2009（平成21）年	新若浜地区国際コンテナターミナル <sup>注2</sup> 供用開始
2011（平成23）年	穀物類に係る国際バルク戦略港湾 <sup>注3</sup> の指定を受け、港湾整備中
2022（令和4）年	新若浜地区国際コンテナターミナル岸壁延伸部供用開始
2023（令和5）年	産直港湾 <sup>注4</sup> の指定を受ける
2025（令和7）年	都城志布志道路 <sup>注5</sup> が全線開通

注1 内航フィーダー輸送は「国内中継輸送」とも呼ばれ、国内の主要港から地方港へ2次輸送を行う船舶のこと。

注2 海上輸送コンテナを積み卸したり、一時的に保管したりする港湾の施設のこと。

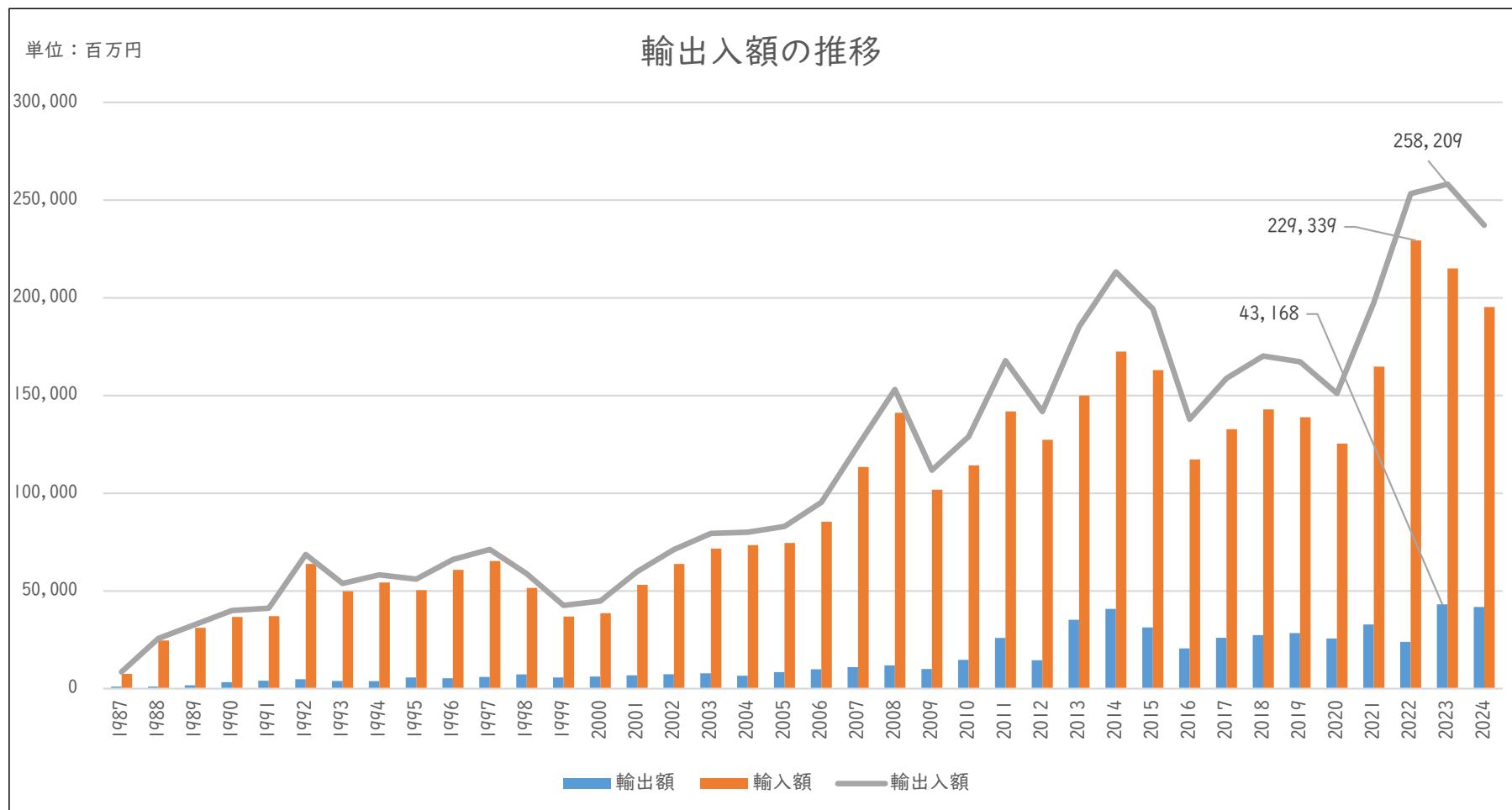
注3 日本におけるばら積み貨物（バルク）の輸入拠点として、安定的かつ安価な輸入の実現に資する大型船に対応した港湾機能の整備等を実施する港湾として国土交通大臣が指定するもの。大型船の輸入拠点を設け、そこから内航フィーダー船で全国の港湾に輸送するという輸入拠点港湾である。国際バルク戦略港湾は品目ごとに指定が行われる。穀物で指定されているのは全国で5つの港（鹿島港、志布志港、名古屋港、水島港、釧路港）

注4 國土交通省と農林水産省が連携して推進する、農林水産物・食品の輸出産地による海外への直航サービスを活用した輸出を促進する港湾のこと。具体的には、大ロット・高品質・効率的な輸出を産地が取り組めるよう、産地と港湾の連携を促進し、港湾の輸出機能を強化することを目的としている。

注5 九州縦貫自動車道（宮崎線）の都城インターチェンジと志布志港を結ぶ延長約44kmの路線。2025（令和7）年3月23日に全線が開通した。

## I 貿易額の推移

- ・ 1987（昭和62）年から2024（令和6）年までの志布志港の輸出入額は下グラフのとおりです。
- ・ 輸出の過去最高額は、2023（令和5）年の431億68百万円、  
輸入の過去最高額は、2022（令和4）年の2,293億39百万円、  
輸出入の合計額では、2023（令和5）年の2,582億09百万円が過去最高額となっています。



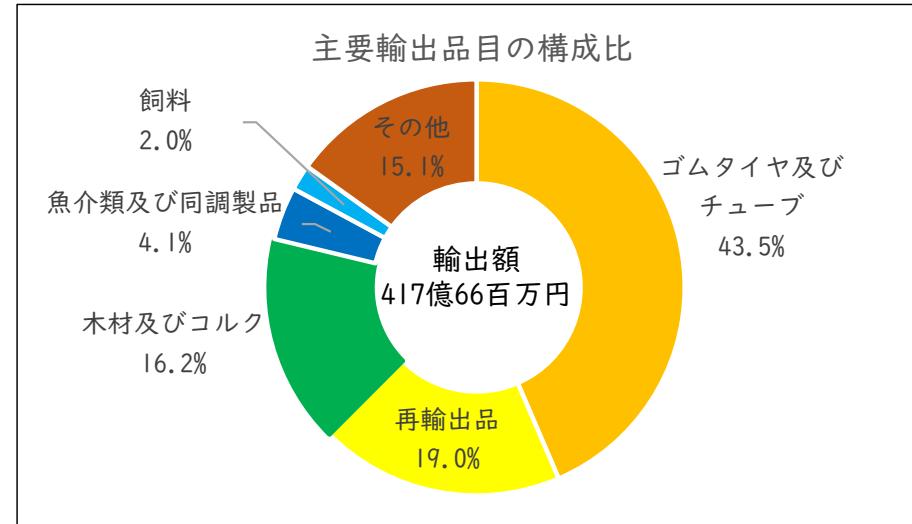
## 2 主な輸出入貨物

- ・2024（令和6）年の志布志港での主な輸出入貨物は下表のとおりです。
- ・輸出の主要品目は、「ゴムタイヤ及びチューブ」、「木材及びコルク」などとなっており、今特集では「木材及びコルク」に含まれる「原木」と「魚介類及び同調製品」に注目しました。
- ・輸入の主要品目は、「穀物及び同調製品」、「飼料」などとなっており、今特集では「穀物及び同調製品」に含まれる「とうもろこし（飼料用）」に注目しました。

### ○輸出

単位：百万円

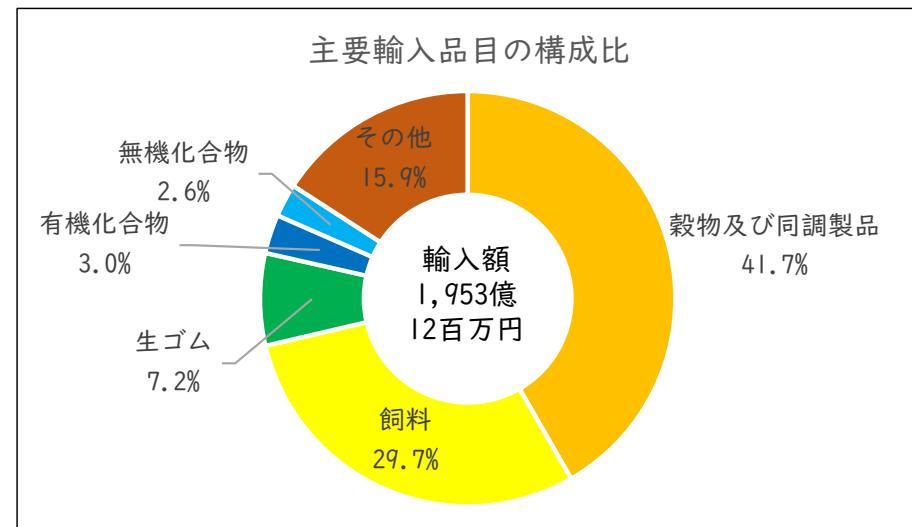
	主要品目	金額
1	ゴムタイヤ及びチューブ	18,184
2	再輸出品	7,920
3	木材及びコルク	6,780
4	魚介類及び同調製品	1,726
5	飼料	834
	その他	6,321
輸出総額		41,766



### ○輸入

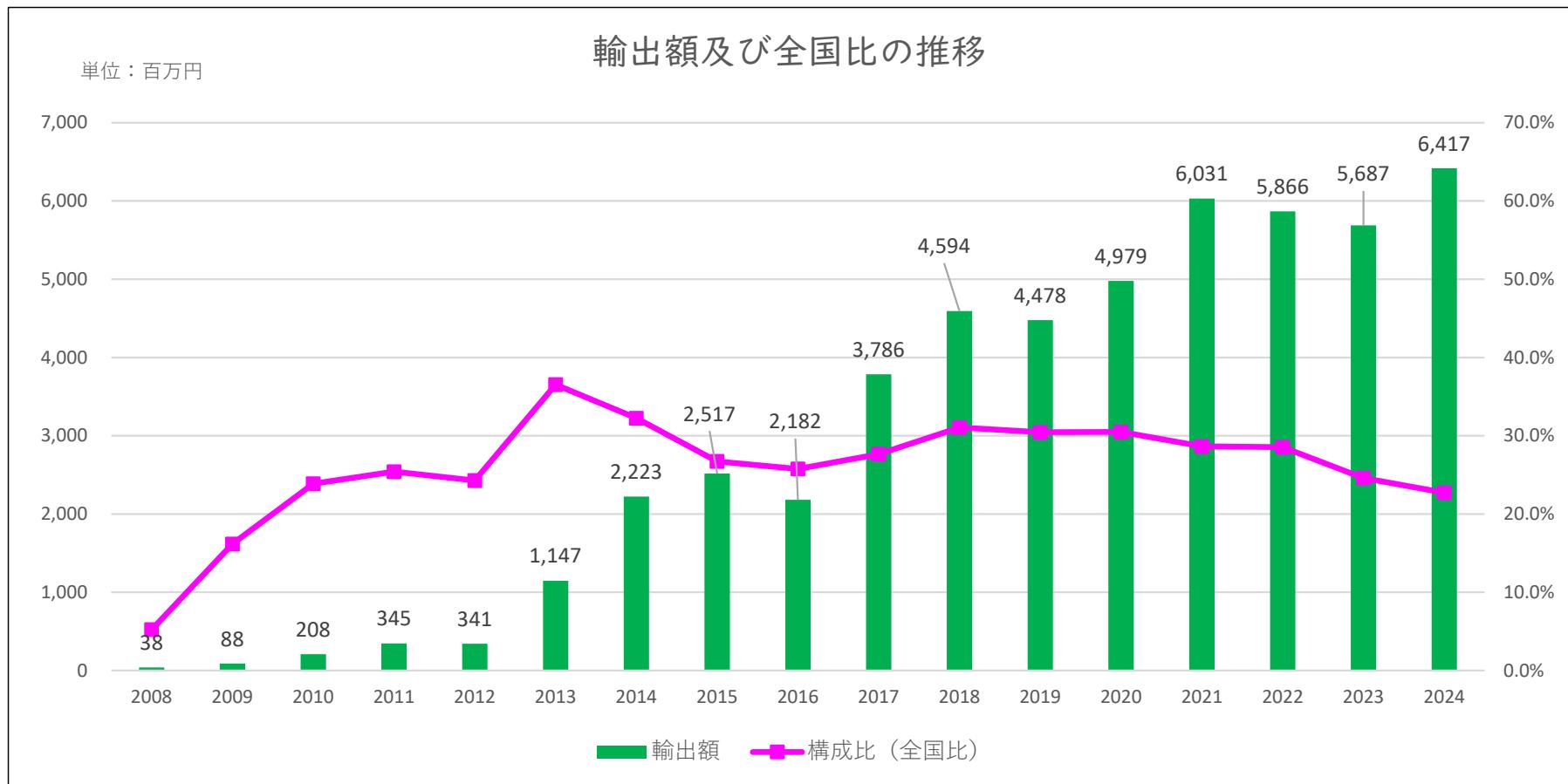
単位：百万円

	主要品目	金額
1	穀物及び同調製品	81,452
2	飼料	57,913
3	生ゴム	14,028
4	有機化合物	5,918
5	無機化合物	5,023
	その他	30,978
輸入総額		195,312



### 3 「原木」の輸出状況（その1）

- ・2009（平成21）年に新たなコンテナターミナルの供用が開始され、旧コンテナターミナル跡地は原木の輸出拠点として活用されています。
- ・輸出額は増加傾向にあり、2024（令和6）年は過去最高の64億17百万円となっています。
- ・2010（平成22）年以降、志布志港での「原木」輸出額は15年連続全国1位となっています。



### 3 「原木」の輸出状況（その2）

#### (1) 輸出額及び構成比の推移

2008（平成20）年以降における「原木」の輸出額及び志布志港の輸出額の全国分に占める構成比は下表のとおりです。

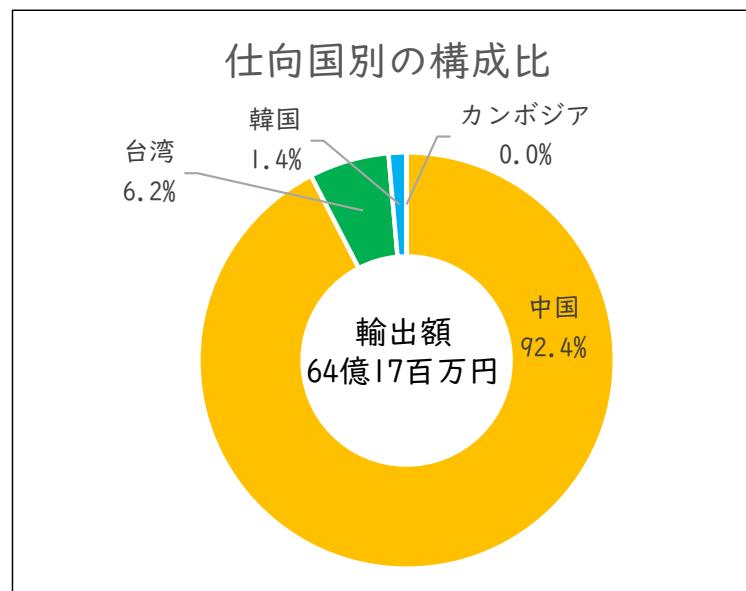
単位：百万円

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全国分	722	546	869	1,358	1,404	3,139	6,894	9,416	8,466	13,683	14,800	14,714	16,339	21,059	20,559	23,108	28,227
志布志出張所	38	88	208	345	341	1,147	2,223	2,517	2,182	3,786	4,594	4,478	4,979	6,031	5,866	5,687	6,417
対全国比	5.2%	16.2%	23.9%	25.4%	24.3%	36.5%	32.2%	26.7%	25.8%	27.7%	31.0%	30.4%	30.5%	28.6%	28.5%	24.6%	22.7%

#### (2) 仕向国別輸出額

2024（令和6）年の志布志港での「原木」の輸出額は64億17百万円ですが、仕向国別の輸出額が下表のとおりであり、「中国」向けが59億29百万円で全体の92.4%を占めています。

仕向国	輸出額
中国	5,929
台湾	398
韓国	88
カンボジア	1
合計	6,417



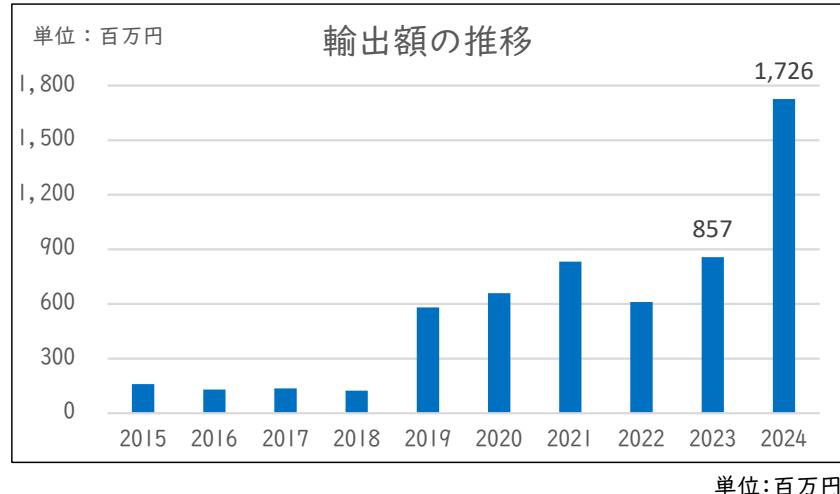
## 4 その他の主要輸出品目 《魚介類及び同調製品》（その1）

### (1) 輸出額の推移

直近10年間の志布志港での「魚介類及び同調製品」の輸出額は、下表のとおりです。

右グラフからも分かるように概ね増加傾向となっています。

2024（令和6）年の輸出額は前年比約2.0倍の17億26百万円であり、過去最高の輸出額となっています。



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
輸出額	160	130	136	124	580	659	833	611	857	1,726

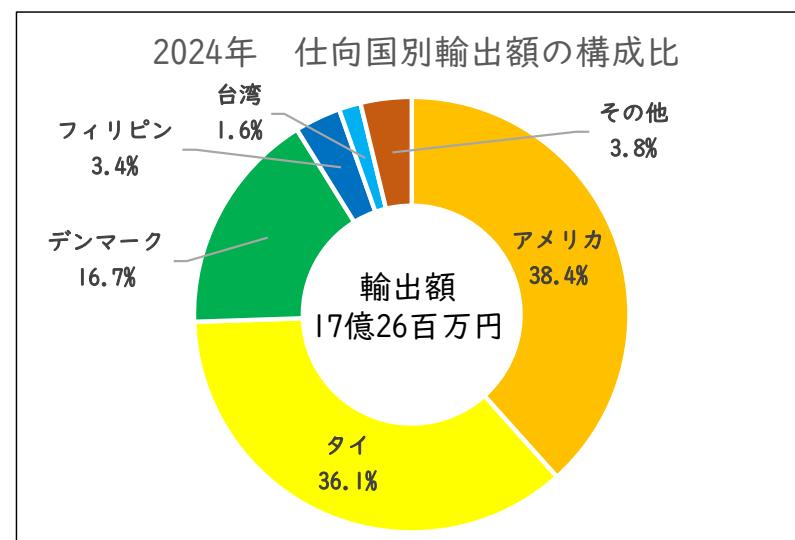
### (2) 仕向国別輸出額

2024（令和6）年の志布志港での「魚介類及び同調製品」の仕向国別（輸出先）輸出額は、右表のとおりです。

上位3カ国である「アメリカ」、「タイ」及び「デンマーク」で全体の91.2%を占めています。

単位：百万円

仕向国	輸出額
アメリカ	663
タイ	623
デンマーク	288
フィリピン	59
台湾	28
フランス	26
その他	40
合計	1,726



<参考> 「魚介類及び同調製品」に係る概況品コード及び統計品目番号

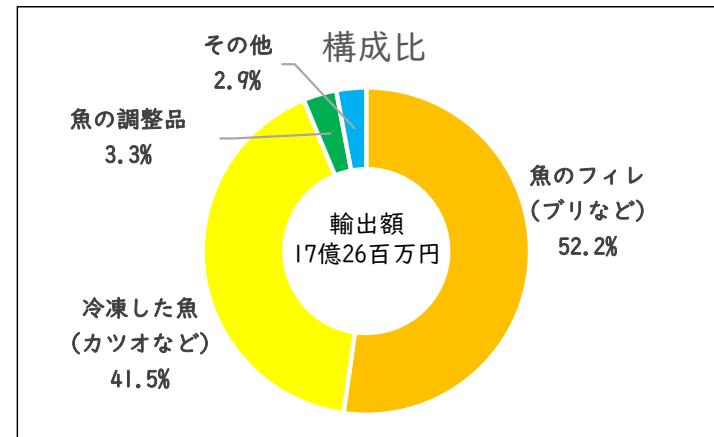
概況品目	概況品コード	輸出統計品目番号
魚介類及び同調製品	007	03類、1604項～1605項

## 4 その他の主要輸出品目 《魚介類及び同調製品》（その2）

### （3）魚種別の輸出額

2024（令和6）年の志布志港での「魚介類及び同調製品」の輸出額は17億26百万円です。  
具体的な品名については下表のとおりです。

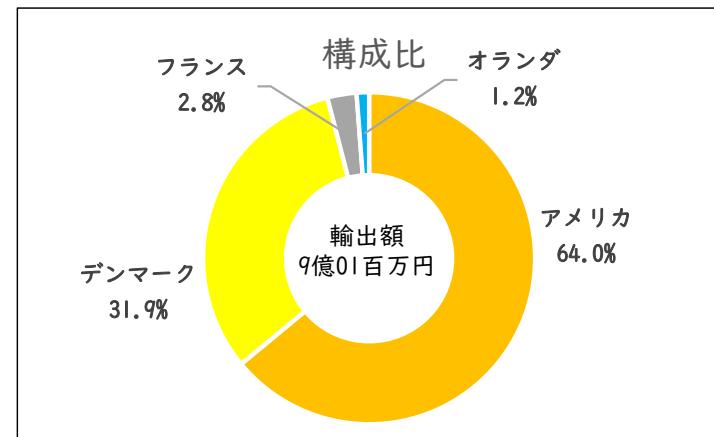
単位：百万円		
品 名	品目番号	輸出額
魚のフィレ（ブリなど）	0304項	901
冷凍した魚（カツオなど）	0303項	717
魚の調製品	1604項	57
その他		51
合 計		1,726



### （4）魚のフィレ（ブリなど）（0304項）の仕向国別輸出額

上記（3）の表のとおり、魚種別の輸出額で最も多いのは「魚のフィレ（ブリなど）」の9億01百万円でした。「魚のフィレ（ブリなど）」の仕向国別輸出額は下表のとおりであり、アメリカ向けが5億77百万円で全体の64.0%を占めています。

単位：百万円	
仕向国	輸出額
アメリカ	577
デンマーク	288
フランス	26
オランダ	11
合 計	901



## 5 とうもろこし（飼料用）の輸入状況

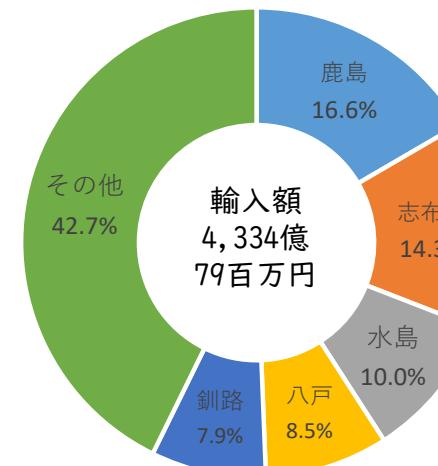
- 輸入額及び構成比の推移

2017（平成29）年以降における「とうもろこし（飼料用）」の輸入額及び志布志港の輸入額の全国分に占める構成比は下表のとおりです。2024（令和6）年の輸入額は618億73百万円で7年連続全国2位となっています。

単位:百万円

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全国分	225,051	255,143	267,179	248,193	382,828	556,449	491,456	433,479
志布志出張所	35,335	38,738	39,826	37,946	55,087	80,655	73,815	61,873
対全国比	15.7%	15.2%	14.9%	15.3%	14.4%	14.5%	15.0%	14.3%

2024年 官署別の構成比



単位:百万円

官署名	輸入額
横浜税関鹿島税関支署	71,880
鹿児島税関支署志布志出張所	61,873
神戸税関水島税関支署	43,247
函館税関八戸税関支署	36,672
函館税関釧路税関支署	34,311
その他	185,496
合計	433,479



<参考>「とうもろこし（飼料用）」に係る概況品コード及び統計品目番号（HSコード）

概況品目	概況品コード	統計品目番号（HSコード）
とうもろこし（飼料用）	0090701	1005.90-010

## 6 さいごに

今回、志布志港での貿易状況について調査しました。

冒頭でも記載しているとおり、志布志港は1987（昭和62）年に開港の指定を受け、貿易額は年々増加傾向にあります。

2024（令和6）年には、「原木」の輸出額が15年連続の全国1位、「魚介類及び同調製品」は過去最高の輸出額、「とうもろこし（飼料用）」の輸入額が7年連続で全国2位をキープしています。

都城志布志道路の全線開通により、九州南部における国際物流の拠点港として、今後ますます発展することが期待されます。

※ 本資料において、志布志港の貿易額は、鹿児島税関支署志布志出張所が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額としています。

※ 統計数値は、2023年までは確定値、2024年は確々報値です。

※ 統計数値の単位未満は、四捨五入を行うため、総数の内訳の計が一致しない場合があります。



### 本資料に関する問い合わせ

長崎税関 調査部 調査統計課  
電話 095-828-8659（直通）  
メール nagasaki-toukei@customs.go.jp



〒850-0862 長崎市出島町1番36号  
長崎税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/nagasaki>

※本資料を他に転載する時には、長崎税関の資料による旨を必ず注記して下さい。